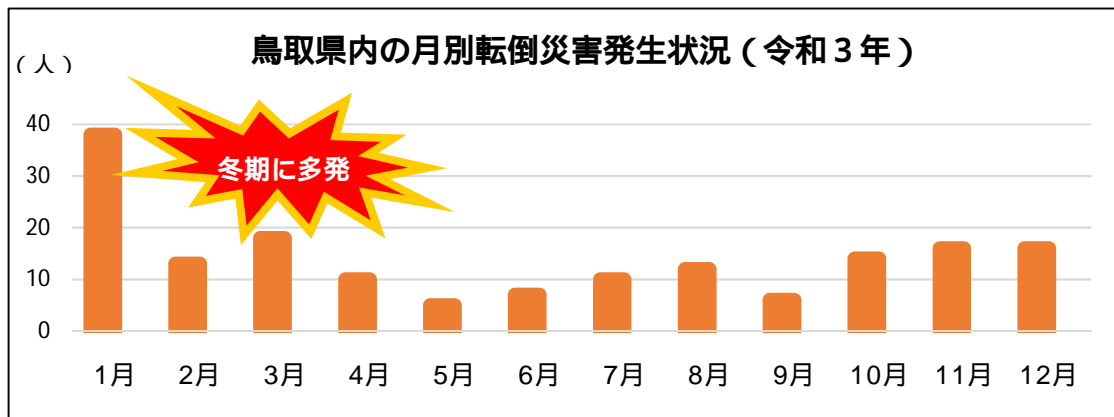


# STOP! 冬の転倒災害

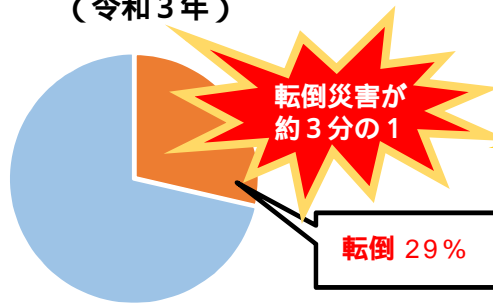
- ▶ 冬季（積雪、凍結時）に転倒災害が多い
- ▶ 鳥取県内における労働災害の約3分の1が転倒災害
- ▶ 転倒災害のうち休業日数30日以上割合は約6割
- ▶ 転倒災害のうち60才以上の割合は約5割



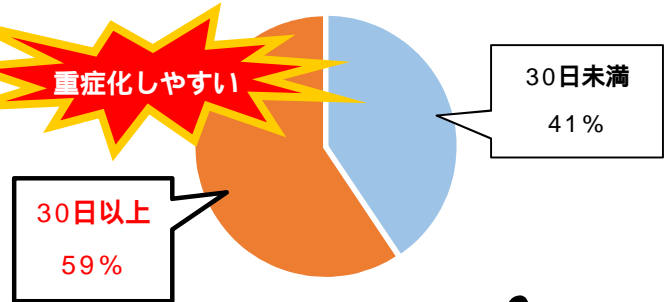
## 転倒災害発生状況



鳥取県内の事故の型別労働災害発生状況  
（令和3年）



鳥取県内の転倒災害における休業日数別労働災害発生状況（令和3年）



## 冬季の転倒災害事例

屋外のごみ置き場へごみを出しに行く途中、路面が凍結しており、足を滑らせて転倒し、手首を骨折した。

（社会福祉施設 60代 休業見込み3か月）

会社敷地内の駐車場から事務所に向かう途中、積雪で路面の凍結がわからず、路面で滑り転倒し、足首を骨折した。

（製造業 30代 休業見込み3か月）

乗務のため、両手に荷物を持って事務所から車へ向かう途中、積雪で転倒し、持っていた荷物が胸部に当たり、胸部を骨折した。

（運輸交通業 50代 休業見込み1か月）



# 冬期の転倒災害防止のポイント

冬期は、降雪、凍結した通路などで転倒し、負傷する労働災害が多く発生していますので、下記を参考に対策を講じましょう。

## 気象状況の把握など

- ・気象情報（積雪、凍結など）を把握し、早めに労働者に周知し、対策を講じること。
- ・天候が悪化し、交通機関に遅れなど予想される場合、休日、勤務時間、出張などの変更を検討すること。
- ・警報、注意報などでの対応マニュアルを作成し、会社内で周知すること。

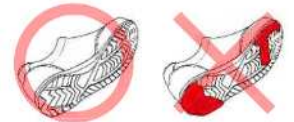


## 通路などでの対策

- ・降雪した通路は、除雪し、凍結した通路などは融雪剤などを散布し、安全通路の確保を行うこと。
- ・滑りにくい靴を使用させること。
- ・あせることなく急がず、ゆっくりと小さい歩幅で、靴の裏全体をつけて歩行すること。
- ・服のポケットなどに手を入れ、両手に物を持ち歩行しないこと。
- ・会社内敷地、駐車場などで過去滑った場所、ヒヤリハット情報で得た場所などの職場の「危険マップ」を作成し、労働者に周知すること。



靴底の凹凸あり 靴底の凹凸が減少



## 高齢労働者における転倒防止対策

- ・身体機能の低下を補填する設備（明るさの確保、滑り止めの設置など）の対策を講じること。
- ・柔軟性、筋力を高めるストレッチ、運動などを取り入れ基礎的な体力、生活習慣の改善に取り組むこと。



# 転倒災害防止のため自主点検を行いましょ

下記のチェックリストを活用し、改善項目があれば早急に改善しましょう。

## チェック項目

1	降雪、気温に関する気象情報を把握し、注意喚起を行う体制を確保していますか？	<input type="checkbox"/>
2	時間に余裕をもって歩行、作業を行うよう指示していますか？	<input type="checkbox"/>
3	積雪、凍結時に転倒のおそれのある場所を確認していますか？	<input type="checkbox"/>
4	除雪用具、融雪剤、転倒防止用マットなど準備していますか？	<input type="checkbox"/>
5	滑りやすい場所などを危険場所として「安全見える化」していますか？	<input type="checkbox"/>
6	滑りにくい靴や手袋の着用を推奨していますか？	<input type="checkbox"/>
7	ながら歩き、ポケットに手を入れたまま歩くなどを禁止していますか？	<input type="checkbox"/>
8	降雪、凍結前に、転倒を防止するための教育、周知等を実施していますか？	<input type="checkbox"/>
9	安全に移動できるように十分な照度を確保していますか？	<input type="checkbox"/>
10	ヒヤリハット情報を活用して、危険マップを作成し、周知していますか？	<input type="checkbox"/>
11	駐車場の除雪・融雪は万全にして、出入口の凍結などにも注意していますか？	<input type="checkbox"/>
12	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか？	<input type="checkbox"/>